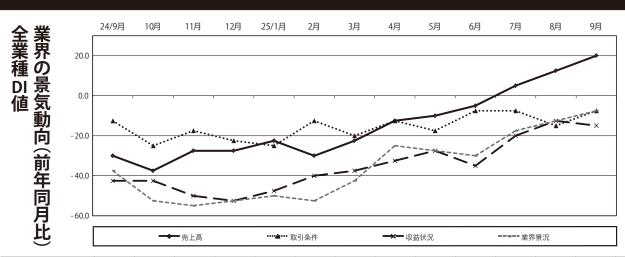
平成25年9月度 情報連絡員報告



	24/9月	10月	11月	12月	25/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	増減
売 上 高	-30.0	-37.5	-27.5	-27.5	-22.5	-30.0	-22.5	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-12.5	20.0	7.5
取引条件	-12.5	-25.0	-17.5	-22.5	-25.0	-12.5	-20.0	-12.5	-17.5	-7.5	-7.5	-15.0	-7.5	7.5
収益状況	-42.5	-42.5	-50.0	-52.5	-47.5	-40.0	-37.5	-32.5	-27.5	-35.0	-20.0	-12.5	-15.0	-2.5
業界景況	-37.5	-52.5	-55.0	-52.5	-50.0	-52.5	-42.5	-25.0	-27.5	-30.0	-17.5	-12.5	-7.5	5.0

相沥

製

造

業

9月の前年同月比DI値は前月に比べ、「収益状況」を除くすべての項目が改善した。「収益状況」が2.5ポイント悪化したものの、「売上高」と「取引条件」は7.5ポイント、「業界景況」は5.0ポイント改善した。景気の緩やかな回復傾向が見受けられるが、消費税増税に伴う今後の駆け込みの需要増、また増税実施以降の価格転嫁対策と需要の落ち込みを懸念する声も多く、依然として先行きを注視していく必要がある。

式年遷宮の影響により小物が好調(組紐)

【漬物】全日本漬物協同組合連合会が、毎年11月11日を「たくあんの日」に決定した。これに伴い、関連行事が検討されており、今後、発酵食品や健康食品として恒常的な需要増につながることを期待している。

【組紐】9月の結果も「やや増加・上昇・好転」の項目が増 えてきている。

売上高については、帯締め・羽織紐は低調であるが、式 年遷宮の影響により小物が好調である。但し、販売価格 の上昇は原材料の値上げに起因すると考えられる。

【木材】木材利用ポイントと消費税増税による駆け込み需要は、一部の業者には見られるが、全体的には今のところ大きな需要増とはなっていない。

【印刷】消費税増税が決定し、業界としては順調に価格 に転嫁できるか不安感が大きい。

【鍍金】当業界の生産量は取り扱う製品により異なるが、8月と同様、全体としてほぼ横ばいの状態である。 自動車関連部品に関しては依然好調で増加傾向にあるが、家電関連の部品は相変わらず不調である。 半導体関連は9月後半より増加に転じ、10月以降更に増える傾向にあるが、コスト面では厳しいものがある。 【肥料】6~7月は円安により化成肥料全般に販売価格の上昇が見られたが、ここに来て中国、インド経済の不況による買え控えにより販売価格は低下してきている。

【家電】9月に入っても前半は残暑により季節商品(エアコンや冷蔵庫等)が好調であったが、中旬に上陸した台風18号以降、全体的に販売は伸び悩んだ。

地域の家電店が従来商品の販売計画を達成することが 難しくなってきている。これからの当業界は、太陽光発 電を中心としてリフォーム関連商品の販売ウェートが大 きくなることが予想される。

【飲食業】消費税率の引上げ時期については、飲食業界 においても慎重な意見が出ている。

また、来月から小麦粉や鶏卵等の値上げが予想されることから、仕入れコストの増加が心配されている。

政府の打ち出す経済政策の効果を期待して、飲食業界活性化の早期実現が望まれている。

【内装工事業】前年同月比として、8月は売上高がかなり増加した結果であったため、9月は売上高がやや減少した結果となった。

消費税率の引上げによって、今後の受注件数がどうなるかは様子を見てみないとわからない。

製造

業

非

14